資料１

第１１次鳥取市総合計画基本計画の令和５年度実績について

１．評価指標の達成状況

まちづくりの目標	政策	施策の基本目標の達成状況						
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外
		100%以上	80%～99%	60%～79%	0%～59%	※2	※3	※1
誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち	未来を創る人材を育むまちづくり	2	7	0	0	0	100.0%	2
	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり	2	1	2	0	0	60.0%	1
	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	4	1	2	0	0	71.4%	0
	人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり	1	1	2	0	0	50.0%	6
人が行きかい、にぎわいあふれるまち	ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり	2	2	2	0	0	66.7%	1
	人が集う交流のまちづくり	1	3	0	1	1	66.7%	2
	文化芸術の薫りあふれるまちづくり	1	2	0	0	0	100.0%	1
	快適で暮らしやすい生活環境づくり	2	4	0	0	1	85.7%	4
豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち	安全・安心に暮らせるまちづくり	1	1	1	0	0	66.7%	0
	環境にやさしいまちづくり	3	0	0	0	0	100.0%	0
合計		19	22	9	1	2	77.4%	17

※１　今回評価の対象ではないもの（令和６年度実施予定の市民アンケート調査を指標としているものなど）
※２　指標の特性上「できた」「できなかった」で評価したもののうち、「できなかった」に属するもの
※３　①「順調/達成」または②「概ね順調」の割合　（①②÷①②③④⑥）

施策ごとの達成状況は次ページ以降を参照してください。

第１１次総合計画基本計画の施策評価について

●内部評価について

- 各施策の令和5年度の実績を踏まえ、達成率や取組の状況、評価区分（①順調　②概ね順調　③やや遅延　④遅延　⑤評価対象外　⑥未達成）、担当課意見を内部評価としてまとめています。
- 達成率は令和5年度実績／年次目標値により算出しています。
- 達成率で評価できないものは、指標に対する令和5年度実績（取組状況）を踏まえ評価しています。

＜評価の目安＞

（パターンA）年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	順調	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和5年度の取組や成果を踏まえて記載しています。
②	概ね順調	80%～99%	
③	やや遅延	60%～79%	
④	遅延	0%～59%	
⑤	評価対象外	―	当該年度の年次目標値が設定できないものは「評価対象外」とし、令和5年度の取組状況を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等について記載しています。

（パターンB）指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	達成	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和5年度の取組や成果を踏まえて記載しています。
⑥	未達成	0%～99%	

第１１次鳥取市総合計画　施策体系

めざす将来像	いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市
まちづくりの理念	鳥取市を飛躍させる、発展させる
都市のすがた	多極ネットワーク型コンパクトシティ
基本構想（令和３年度～令和 12 年度）	基本計画（令和３年度～令和７年度）

まちづくりの目標	政　策	基本施策	重点施策 Ⅰ	重点施策 Ⅱ	重点施策 Ⅲ	総合戦略の柱
誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち	未来を創る人材を育むまちづくり	●結婚・出産・子育て支援	●			Ⅰ 次世代の鳥取市を担う ‘ひとづくり’
		●教育の充実・郷土愛の醸成	●			
		●生涯学習の推進	●			
	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり	●安心できる社会保障制度の運営				
		●超高齢社会に向けたまちづくりの推進			●	
		●障がいのある人の自立支援				
	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	●健康づくり・疾病予防・介護予防の推進			●	
		●安全・安心のための保健衛生と医療の推進				
		●スポーツ・レクリエーションの振興			●	
	人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり	●人権擁護の推進と人権意識の醸成				
		●男女共同参画社会の形成				
		●地域福祉の推進			●	
		●多文化共生のまちづくりの推進			●	
		●協働のまちづくりの推進			●	
人が行きかい、にぎわいあふれるまち	ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり	●持続可能な経済成長の実現		●		Ⅱ 誰もが活躍できる ‘しごとづくり’
		●工業の振興		●		
		●商業とサービス業等の振興		●		
		●農林水産業の成長産業化		●		
	人が集う交流のまちづくり	●ふるさと・いなか回帰の促進			●	
		●滞在型観光の推進			●	
		●シティセールスの推進			●	
		●自治体間連携の推進			●	
		●他都市との交流の推進				
	文化芸術の薫りあふれるまちづくり	●文化芸術によるまちづくりの推進			●	
		●文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成				
	快適で暮らしやすい生活環境づくり	●生活基盤の充実			●	Ⅲ にぎわいにあふれ安心して暮らせる ‘まちづくり’
		●中心市街地の活性化			●	
		●魅力ある中山間地域の振興			●	
		●交通ネットワークの充実			●	
		●地域情報化の推進			●	
豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち	安全・安心に暮らせるまちづくり	●地域防災力の向上			●	
		●防犯・交通安全対策の充実				
		●安全・安心な消費生活の確保				
	環境にやさしいまちづくり	●循環型社会の形成				
		●環境保全活動の推進				

計画推進における基本方針

- 多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化
- 時代の変化に即応できる組織体制の構築
- 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立
- 自治体間の広域的な連携の推進

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】未来を創る人材を育むまちづくり

4

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1101)結婚・出産・子育て支援	1	鳥取市の合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数として算出された当該年の人口統計上の数値。	目標値	-	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	②概ね順調	合計特殊出生率は平成30年以降、概ね1.5前後で推移していたが、令和５年は市試算値で1.40に低下した。 合計特殊出生率低下の社会経済要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数の減少、若年層の転出超過が考えられ、「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」「育児負担の重さ」「魅力的な就業機会の不足」などの影響を受けていると考える。 少子化の要因をしっかりと踏まえて、若者の意見を取り入れた実効性のある各種対策を立案・実施し、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 ※令和５年の県内市町村別の合計特殊出生率の県公表は、今年度後半になる見込みのため、評価は市試算値で実施する。	地方創生推進室
				実績値	-	1.50	1.48	1.54	1.49	1.55	1.40					
				達成率	%	-	-	-	94.9%	96.9%	86.4%					
	2	「子育てを楽しい」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	70.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども未来課
				実績値	%	-	66.0	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で「子育てしやすい（子育てしやすかった）」と回答をした市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども未来課
				実績値	%	-	61.5	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
(1102)教育の充実・郷土愛の醸成	4	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学校）	「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「将来の夢や目標を持っているか」の質問に、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合	目標値	%	-	-	-	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	②概ね順調	「将来の夢や目標を持っているか」の質問に、「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、平成30年度以降は概ね80%となっている。児童が学校での諸活動により、自分の将来について前向きに考えられるようになっていると考えられる。 今後もより割合が高くなるよう、児童が主体的に自分の将来についても考えられるような学習を展開していく。	学校教育課
				実績値	%	82.3	81.6	調査なし	77.4	81.4	79.9					
				達成率	%	-	-	-	90.0%	93.6%	90.8%					
	5	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学校）	「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「将来の夢や目標を持っているか」の質問に、「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合	目標値	%	-	-	-	72.0	73.0	74.0	75.0	76.0	②概ね順調	「将来の夢や目標を持っているか」の質問に、「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、令和５年度は令和３～４年度を若干上回ったものの、平成30年度、令和元年度を下回っている。コロナ禍において、職場体験学習の中止や縮小によって、勤労観や職業観を育む場がなくなったことも原因の一つと考えられる。 今後は職場体験だけによらない、キャリア教育の推進を進めていく。	学校教育課
				実績値	%	72.4	71.2	調査なし	65.9	65.9	67.2					
				達成率	%	-	-	-	91.5%	90.3%	90.8%					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1102)教育の充実・郷土愛の醸成	6	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値	%	-	-	-	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	①順調	令和５年度「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に変更になったため、実績値が高くなっている。令和４年度は全国平均と同じであったが、令和５年度は全国平均よりも1.9ポイント上回っている。 今後も児童が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育んでいく。	学校教育課
				実績値	%	45.7	46.4	調査なし	50.8	51.3	78.7					
				達成率	%	-	-	-	90.7%	90.0%	135.7%					
	7	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値	%	-	-	-	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	①順調	令和５年度「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に変更になったため、実績値が高くなっている。令和５年度は全国平均よりも7.7ポイント上回っている。各中・義務教育学校で地域の人・もの・事と関わる学習を工夫して設定している成果であると考える。 今後も生徒が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育んでいく。	学校教育課
				実績値	%	38.8	42.0	調査なし	45.9	42.9	71.6					
				達成率	%	-	-	-	112.0%	102.1%	166.5%					
	8	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小学校）	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	②概ね順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、88.2%で概ね順調である。 今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課
				実績値	%	89.5	87.8	89.1	89.5	89.5	88.2					
				達成率	%	-	-	-	99.4%	98.4%	95.9%					
	9	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（中学校）	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値	%	-	-	-	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0	②概ね順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒の割合は、89.4%で概ね順調である。 今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課
				実績値	%	86.9	88.3	89.3	87.5	89.7	89.4					
				達成率	%	-	-	-	98.3%	99.7%	98.2%					
(1103)生涯学習の推進	10	生涯学習講座の参加者の満足度	当該年度実施の生涯学習講座参加者アンケートで、受講内容について「大変満足」または「満足」と回答した参加者の割合。	目標値	%	-	-	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0	②概ね順調	今後も、生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして一体的に運営し、参加者のニーズを講座内容に反映させながら、講座内容の満足度の向上を図っていく。	生涯学習・スポーツ課
				実績値	%	-	83.0	57.0	83.3	92.0	85.0					
				達成率	%	-	-	-	98.0%	105.7%	96.6%					
	11	市民１人あたりの図書貸出冊数	市民が年間に貸出利用をする１人あたりの冊数	目標値	冊	-	-	-	4.8	4.9	5.0	5.1	5.2	②概ね順調	コロナ禍の収束により、来館者数が増加傾向にあることから、1人当たりの貸出冊数は昨年度より増加している。 今後も、来館者数・貸出冊数の増加に向けて、引き続き図書館の魅力を伝えるイベントなどを実施することにより、多くの市民の読書活動を喚起し、利用率向上に取り組む。	中央図書館
				実績値	冊	4.6	4.7	3.7	4.2	3.9	4.3					
				達成率	%	-	-	-	87.5%	79.6%	86.0%					

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1201)安心できる社会保障制度の運営	12	生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった人数	生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった当該年度の人数。	目標値	人	-	-	-	76	82	88	95	100	③やや遅延	令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化により雇用情勢が厳しくなり、被保護者を就労に結びつけることが困難であったが、令和３年度以降は就労支援事業委託先やハローワーク、生活福祉課の就労支援員等の連携により、就労を開始する者が徐々に増えている。 しかし、稼働年齢層の生活保護受給者は減少傾向にあり、事業に参加しても就労に結びつく人数はなかなか増加していない。 引き続き関係機関とも連携しながら、被保護者の自立に向けた支援に取り組んでいく。	生活福祉課
				実績値	人	-	70	49	54	56	66					
				達成率	%	-	-	-	71.1%	68.3%	75.0%					
	13	鳥取市国民健康保険におけるジェネリック医薬品の普及率	厚生労働省が発表する、鳥取市国民健康保険における薬剤に占める当該年度のジェネリック医薬品の数量ベースによる普及割合。	目標値	%	-	-	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	②概ね順調	令和２年以降、一部のジェネリック医薬品に供給不足が生じており、実績値が伸びにくい状況があるものの、国が公表する本市の普及割合は速報値82.8%（令和５年９月現在）で概ね順調に推移している。 今後も、医療費の適正化や被保険者の医療費の負担軽減につなげるため、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知や啓発事業を通して、利用勧奨に努め、ジェネリック医薬品の普及を促進していく。	保険年金課
				実績値	%	-	79.6	80.9	80.6	81.2	82.8					
				達成率	%	-	-	-	99.5%	99.0%	99.8%					
	14	介護給付適正化事業におけるケアプラン点検実施件数	ケアプラン点検を行った当該年度のプラン件数。	目標値	件	-	-	-	490	490	560	560	580	①順調	介護給付の受給者が、真に必要とする過不足ないサービスを事業者が適切に提供できるようにするため、なるべく多くのケアプラン点検を実施していく。また、ケアプラン点検の結果について、居宅介護事業所・包括支援センター等に対して研修を実施するなどして、ケアプランの質の向上に向けた支援、取り組みを行いたい。	長寿社会課
				実績値	件	-	528	190	348	805	607					
				達成率	%	-	-	-	71.0%	164.3%	108.4%					
(1202)超高齢社会に向けたまちづくりの推進	15	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	当該年度実施の市民アンケート調査において、住みやすさに関する満足度指数のうち高齢者福祉３項目の指数の平均値（最大5P）	目標値	ポイント	-	-	-	-	-	-	3.00	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 政策に掲げる「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」を目指し、地域共生社会の実現や地域包括ケアシステムの深化・推進を目標に、第９期（令和６～８年度の計画期間）介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定し、各高齢者福祉事業の取り組みを進めていく。	長寿社会課
				実績値	ポイント	-	2.97	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
(1203)障がいのある人の自立支援	16	一般相談支援事務所の相談員数	相談支援体制の充実に向けた一般相談支援専門員の当該年度末の人数。	目標値	人	-	-	-	19	19	19	20	20	①順調	障がいのある人やその保護者からの多岐に渡ったきめ細やかな相談対応に応じていくためには、専門的な知識を持つ相談支援専門員が必要不可欠である。今後も相談支援体制の充実に向け一般相談支援専門員の確保を着実に図っていきたい。	障がい福祉課
				実績値	人	-	16	19	19	20	20					
				達成率	%	-	-	-	100.0%	105.3%	105.3%					
	17	一般就労への移行者数	就労系サービス利用から一般就労へ移行した人の当該年度の人数。	目標値	人	-	-	-	35	35	35	35	35	③やや遅延	コロナ禍で一般就労移行者数も落ち込んでいたが、コロナ前の実績に回復しつつある。今後も福祉施設から一般就労への移行に向け関係団体が連携し取組を進めていきたい。	障がい福祉課
				実績値	人	-	27	22	18	12	23					
				達成率	%	-	-	-	51.4%	34.3%	65.7%					

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1301)健康づくり・疾病予防・介護予防の推進	18	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（女性）	当該年度の日常生活動作が自立している（要介護度2未満）期間の平均。	目標値	年	-	-	-	20.86	20.91	20.96	21.01	21.06	①順調	高齢者寿命の延びに伴って健康寿命も自然に延伸傾向で、令和５年度は21.33となった。 介護が必要になる前の高齢者を想定した、介護予防・健康の維持増進につながる取り組みを実施しているが、まだまだ限定的なものであるため、実施体制を拡充すると共に地域の中で住民自身が自発的・継続的に取り組める仕掛けを検討していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和５年度実績は令和３年度の数値を報告。	長寿社会課
				実績値	年	-	20.76	21.07	21.03	21.74	21.33					
				達成率	%	-	-	-	100.8%	104.0%	101.8%					
	19	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	当該年度の日常生活動作が自立している（要介護度2未満）期間の平均。	目標値	年	-	-	-	17.71	17.79	17.87	17.95	18.03	①順調	高齢者寿命の延びに伴って健康寿命も自然に延伸傾向で、令和５年度は18.10となった。 介護が必要になる前の高齢者を想定した、介護予防・健康の維持増進につながる取り組みを実施しているが、まだまだ限定的なものであるため、実施体制を拡充すると共に地域の中で住民自身が自発的・継続的に取り組める仕掛けを検討していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和５年度実績は令和３年度の数値を報告。	長寿社会課
				実績値	年	-	17.55	17.63	17.57	18.06	18.10					
				達成率	%	-	-	-	99.2%	101.5%	101.3%					
(1302)安全・安心のための保健衛生と医療の推進	20	重点監視施設の監視率	鳥取県東部圏域食品衛生監視指導計画に基づく重点監視施設の監視割合。	目標値	%	-	-	-	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	①達成	鳥取県東部圏域食品衛生監視指導計画に基づき、施設の設置及び申請手続きの指導や、HACCPに沿った衛生管理の適正な指導、流通食品の安全性の検証などにより、食の安全性の確保に繋がった。今後も計画に沿って、計画的かつ効果的な監視指導を実施し、衛生管理の向上に努め、住民の食の安全を確保する。	生活安全課
				実績値	%	-	119.5	126.0	95.1	94.6	101.4					
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成	達成					
	21	保護収容動物の返還及び譲渡率	鳥取市保健所で保護収容した愛玩動物を飼い主又は新しい飼い主に引き渡した割合。	目標値	%	-	-	-	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	②概ね順調	令和５年度の返還・譲渡率は前年度の71.8%から50.7%へ大きく減少した。これは、傷病動物の収容が多く、収容後に死亡したものや、生存させることが苦痛を長引かせると判断し、安楽死を行った頭数が多かったことによる。新型コロナの５類化に伴い、直営の譲渡会を３年ぶりに開催し、２頭の譲渡につながった。多くの方に直接動物を見ていただく良い機会であるため、今後も継続開催したい。	生活安全課
				実績値	%	-	57.8	63.9	74.1	71.8	50.7					
				達成率	%	-	-	-	121.5%	115.8%	80.5%					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1303)スポーツ・レクリエーションの振興	22	市民体育祭の延べ参加地区数	当該年度の市民体育祭に参加した延べ地区数。	目標値	地区	-	-	-	460	470	480	490	500	③やや遅延	新型コロナウイルスの影響により参加校区数が大きく減少したが、令和５年度はコロナ禍前の８割近くまで回復した。市民ニーズに呼応した競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図っていく。	生涯学習・スポーツ課
				実績値	地区	-	452	大会中止	141	244	350					
				達成率	%	-	-	-	30.7%	51.9%	72.9%					
	23	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	功績を残したアスリートを招いた出前授業（小学校5年生、中学校2年生対象）の当該年度の実施校数。	目標値	校	-	-	-	16	16	18	18	20	③やや遅延	令和５年度は、オンラインから対面授業形式に戻り、実施校数は13校となった。より多くの学校で実施できるよう調整に努め、バランスよく開催し、学校で学ぶことができない貴重な体験をすることで、夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機会を創出することとする。	生涯学習・スポーツ課
				実績値	校	-	14	10	12	11	13					
				達成率	%	-	-	-	75.0%	68.8%	72.2%					
	24	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校施設開放による小中学校体育館等の当該年度の延べ一般利用者数。	目標値	人	-	-	-	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	①順調	スマート予約システムへの団体登録の増加に伴い学校施設利用者は増加している。 同一団体による長時間の予約や、週の定期予約数の制限を行うなど、より多くの団体に利用いただきスポーツの振興を図っていく。	生涯学習・スポーツ課
				実績値	人	-	344,804	279,704	442,432	438,624	667,472					
				達成率	%	-	-	-	126.4%	125.3%	190.7%					

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1401)人権擁護の推進と人権意識の醸成	25	「人権が尊重されているまち」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において「満足」または「やや満足」と回答をした市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 令和６年度は、本市の人権施策の基本的な考え方や方向性を示す「鳥取市人権施策基本方針」の第３次改訂に沿った施策に取り組む初年度である。この方針に沿い、人権擁護の推進、人権意識の高揚を図る取組、地域共生に向けた取組を行う。	人権推進課
				実績値	%	-	39.5	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	26	各地区における小地域懇談会の開催回数	各地区同和教育推進協議会等が開催する地域住民を対象とした小地域懇談会の当該年度の開催回数	目標値	回	-	-	-	300	430	535	550	560	③やや遅延	各地区同和教育推進協議会等が、コロナ禍や、新型コロナウイルスの５類移行後においても、各小地域懇談会の開催時期や開催方法を工夫し学習を継続いただいた取組の成果が、実績値及び達成率の増加に繋がったものと考える。 今後も、学習教材（人権啓発資料や人権啓発用視聴覚教材（DVD等））に関する情報提供や、本市人権教育推進員の派遣などを行い、各地区同和教育推進協議会等の活動を支援していく。	人権推進課
				実績値	回	-	535	198	172	209	361					
				達成率	%	-	-	-	57.3%	48.6%	67.5%					
(1402)男女共同参画社会の形成	27	「社会全体で男女の地位が平等になっている」と思う割合	当該年度実施の男女共同参画に関する意識調査で「社会全体で男女の地位が平等になっていると思う」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	-	30.0	⑤評価対象外	男女共同参画に関する市民意識調査は5年ごとに行っており、次回調査は令和６年度に行うこととしている。これにより実態把握し、男女共同参画かがやきプラン策定につなげる。プランの策定により、男女共同参画施策を効果的に推進する。 男女共同参画意識の醸成を図るため、男女共同参画センターでの啓発講座や出前講座、パネル展示の実施など、あらゆる機会を通じた啓発活動に取り組む。	男女共同参画課
				実績値	%	-	15.7	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-				
	28	市の審議会等における女性委員の割合	市の審議会委員への女性登用率。	目標値	%	-	-	-	30.7	33.1	35.5	37.9	40.0	②概ね順調	昨年より登用率が下がり、目標達成できていない。主な原因として、学識経験者枠や各種団体推薦枠での女性選出が不足していることが考えられる。これらの積極的登用や、男女共同参画課が所管する「鳥取市女性人材バンク」を活用をするなど、委員の更新時等に女性委員の積極的な選任に努めていただけるよう庁内に周知する。	男女共同参画課
				実績値	%	-	30.3	30.7	31.5	31.0	30.8					
				達成率	%	-	-	-	102.6%	93.7%	86.8%					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(1403)地域福祉の推進	29	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去１年に福祉ボランティア活動に参加した」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	8.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も地域共生社会の実現に向けて、地域福祉を推進する施策を継続して実施していく。	地域福祉課
				実績値	%	-	7.2	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	30	地域食堂の設置校区数	「地域食堂」が設置されている中学校区及び義務教育学校区の当該年度末の数。	目標値	校区	-	-	-	11	13	15	16	17	①順調	地域食堂が設置されている中学校区及び義務教育学校区の数は、令和元年度以降、年々増加しており、近年の達成率は100%以上で推移している。 地域食堂の設置校区数が増加したことにより、子どもを中心に地域の多様な人が集う居場所の安定的かつ継続的な確保に繋がったものと考えている。 今後も、支援団体のさらなる拡充や、地域食堂が未設置の校区へ積極的に関わり、立ち上げに向けた支援を行っていく。	人権推進課
				実績値	校区	-	9	11	11	14	16					
				達成率	%	-	-	-	100.0%	107.7%	106.7%					
	31	共生型サービスの実施事業者数	介護保険と障害福祉のサービスを同一事業所で提供を受けられる「共生型サービス」の当該年度末の実施事業者数。	目標値	事業者	-	-	-	7	8	8	9	10	③やや遅延	共生型サービスの事業者は利用者の減少などにより事業廃止となった事業者があるなど減少傾向にある。 引き続き、事業者の集団指導等を通じて事業の周知を図るとともに、アンケート調査の実施など事業者の意識を把握し、事業者の増加につながるよう努めていく。	地域福祉課指導監査室
				実績値	事業者	-	7	7	6	6	5					
				達成率	%	-	-	-	85.7%	75.0%	62.5%					
(1404)多文化共生のまちづくりの推進	32	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	当該年度実施の市民アンケート調査において、重要度が「高い」または「やや高い」と回答をした市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、留学生など外国人住民が増加傾向であることを踏まえ、多様な人材の受け入れに向けて、外国人を含めたすべての住民にとって暮らしやすいまちづくりを実現する必要がある。 引き続き、関係団体や外国人支援団体などと連携しつつ、やさしい日本語・多言語による情報提供の充実や、各種講座・交流イベントの開催による相互理解の推進に取り組むことにより、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課
				実績値	%	-	42.9	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
(1405)協働のまちづくりの推進	33	地域活動に参加したことがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去１年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	75.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 引き続き、地域活動や地域共生の推進に向け、市報やホームページなどでの啓発活動に取り組んでいく。	協働推進課
				実績値	%	-	71.5	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	34	地域内における住民同士のつながり	当該年度実施の市民アンケート調査で「近所付き合いがある」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	80.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 目標値の達成に向けて地域コミュニティ活動の維持・向上につながる地域運営組織活動支援事業やコミュニティ活動支援事業などの施策を展開する。	協働推進課
				実績値	%	-	76.6	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(2101)持続可能な経済成長の実現	35	就業者1人あたりの市内GDP	就業者１人当たりの当該年度の市町村内総生産（名目）の本市の値。	目標値	千円	-	6,800	6,970	7,140	7,310	7,478			②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、GDPはコロナ前の水準に戻ってきている。 今後もさらなる達成率を上げるために、就業者一人一人が効率的に付加価値を作り出すことが重要であり、労働生産性向上に繋がる施策とともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）等の取り組みを推進していく。	経済・雇用戦略課
				実績値	千円	6,710	調査未実施	6381	6755							
				達成率	%	-	-	91.5%	94.6%							
	36	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学（学部卒）の全就職内定者のうち県内就職内定率。	目標値	%	-	-	-	25.0	25.8	26.6	27.4	28.2	②概ね順調	令和５年度卒業生（学部卒）の県内企業就職率は22.0%と、昨年度より0.7ポイント増加した。 一方で、人手不足により大都市圏の企業が採用活動が早期化及び活発化している。 引き続き、県やふるさと定住機構と連携を図り、学生が県内企業や地域の良さを知る機会を創出し、県内就職率の向上に努めていく。	経済・雇用戦略課
				実績値	%	23.4		17.2	17.7	21.3	22.0					
				達成率	%	-	-	-	70.8%	82.6%	82.7%					
(2102)工業の振興	37	市内製造品出荷額等	当該年の経済構造実態調査（製造業事業所調査※経済産業省）による製造品出荷額等の本市の値。	目標値	億円	-	2,726	2,617	2,669	2,749	2,867			①順調	原材料、原油価格の高騰や半導体の供給不足などの影響で、地元製造業の景況感が厳しい状況にある中、電子部品・デバイス・電子回路、機械器具製造業などが増加した。これは、新型コロナウィルス感染症の影響が落ち着き、経済活動がコロナ禍前に戻りつつあることが要因であると考えられる。 今後も積極的に経済情勢や企業ニーズに対応した企業支援を行い、さらなる改善を目指す。	企業立地・支援課
				実績値	億円	2,811	2,707	2,649	2,971							
				達成率	%	-	99.3%	101.2%	111.3%							
(2103)商業とサービス業等の振興	38	市内事業所数	当該年の経済センサス（基礎・活動）調査における事業所数の本市の値。	目標値	件	-	-	-	8,882	-	-	9,018	-	⑤評価対象外	市内事業所数は、経済センサス基礎調査または活動調査によるものであり、次回調査年度である令和６年度の実績値により評価を実施する。	企業立地・支援課
				実績値	件	-	9,996	-	8,537	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	96.1%	-	-		-			
(2104)農林水産業の成長産業化	39	市内農業産出額	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値。	目標値	億円	-	-	130	130	136	143	150		①順調	令和４年度は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻等国際情勢の影響による、米価の下落や燃油、生産資材の高騰が本市の農業にも影響を及ぼしたが、令和３年度に引き続き、目標値を上回った。 「鳥取県農業生産１千億達成プラン」や「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」を県や東部４町、JA等と連携し推進するとともに、経費削減や農業所得向上に資する支援策のより一層の強化を図っていく。	農政企画課
				実績値	億円	129	152	152	140	140						
				達成率	%	-	-	116.9%	107.7%	102.9%						
	40	市内木材搬出量	当該年度の林業経営体の経営計画に基づく市内の間伐木材搬出量。	目標値	㎥	-	-	-	43,303	45,478	47,652	49,826	52,000	③やや遅延	樹木の成長には間伐による森林整備が必要であるが、伐期を迎えた森林が多くなってきており、間伐から主伐への方針転換が進み、間伐木材搬出量が減少しており、目標が達成されていない。 今後も継続して間伐に対する支援を行う。また、令和5年度より行っている、主伐に対する支援も継続して行う。	林務水産課
				実績値	㎥	-	38,955	39,381	34,015	33,309	34,833					
				達成率	%	-	-	-	78.6%	73.2%	73.1%					
	41	市内漁獲量	当該年の海水面漁業の市内漁獲量。	目標値	t	-	-	-	2,203	2,203	2,203	2,203	2,203	③やや遅延	今後も担い手の確保・育成に努め、漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水産課
				実績値	t	-	2,203	2,127	1,968	1,793	1,698					
				達成率	%	-	-	-	89.3%	81.4%	77.1%					

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】人が集う交流のまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(2201)ふるさと・いなか回帰の促進	42	移住定住者数	R3～7年度に本市に移住した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	480	480	480	480	480	②概ね順調	目標値には届かないものの、昨年度並みの306世帯451人の移住者があった。世帯主の年齢層は20代～40代が約80%であり、主に若者・子育て世代が占めている。また、各種SNSや令和4年度に運営開始した移住定住専用ポータルサイトでの情報発信による効果もあり、単年度の移住相談登録者数も前年度より233人増加している。 今後も、情報発信や丁寧な相談対応に努めるとともに、ワーケーション事業等の県外企業に働きかける取組、市内高校生や県外に進学した学生に対する取組など、各部局の事業と連携を取りながら、様々なチャンネルを通じて移住定住を促進していきたい。	地域振興課
				目標値(累計)	人	-	-	-	480	960	1440	1920	2400			
				実績値(単年)	人	461	359	389	462	458	451					
				実績値(累計)	人	-	-	-	462	920	1371					
				達成率	%	-	-	-	96.3%	95.8%	95.2%					
	43	高校生の鳥取市への定住意向	高校3年生を対象とした当該年度実施のアンケート調査で、「将来的には、鳥取市に定住したい」と回答した割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	40.0	-	⑤評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 本市の人口は、出生数の減少による自然減に加え、転出超過による社会減が進行し、特に若い世代の県外流出が続いており、次代の鳥取市を担う若者の定着は、喫緊の課題となっている。若者定着のために、地元企業への就職につながる取組や地元の魅力を発見する活動に対する支援等を実施し、若者の定住につなげていく。	政策企画課
				実績値	%	-	33.9	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
(2202)滞在型観光の推進	44	観光入込客数	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値	万人	-	-	298	300	302.5	305	307.5	310	①順調	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたこともあり、コロナ禍前の令和元年を超える数値となった。 今後も観光資源の磨き上げや情報発信の強化、受入環境の整備等を行い、滞在型観光の推進に取り組む。	観光・ジオパーク推進課
				実績値	万人	269	295	170	187	243	311					
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%	102.0%					
	45	外国人宿泊者数	市内の主要宿泊施設の年間外国人宿泊者数。	目標値	人	-	-	33,500	33,800	34,100	34,400	34,700	35,000	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症が収束しインバウンド需要は回復傾向にある。引き続きアフターコロナにおけるインバウンド需要の回復に向け、情報発信の強化等に取組む。	観光・ジオパーク推進課
				実績値	人	-	33,041	2,766	1,118	5,318	28,116					
				達成率	%	-	-	-	3.3%	15.6%	81.7%					
(2203)シティセールスの推進	46	市民愛着度	当該年度実施の市民アンケート調査で「本市に愛着や親しみを感じている」と回答した市民の割合	目標値	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 様々な手法の情報発信により市民のシティプライドを醸成し、市民の鳥取市への愛着度の向上につなげてきたが、これまでの取組を踏まえながら、引き続き市民愛着度の向上・深化につながる効果的な取組を検討する。	政策企画課
				実績値	%	-	61.5	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	47	地域魅力度	ブランド総合研究所が行う当該年の地域ブランド調査結果。	目標値	位	-	-	-	154.0	140.0	127.0	113.0	100.0	⑥未達成	地域魅力度の順位が昨年度より下がり、目標順位には到達しなかった。引き続き、庁内全体におけるシティセールス関連事業の取組状況を分析し、本市の魅力の向上・浸透につながるようシティセールスの視点を踏まえた施策の推進を図る。	政策企画課
				実績値	位	-	181	187	218	171	179					
				達成率	-		-	-	未達成	未達成	未達成					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(2204)自治体間連携の推進	48	麒麟のまち圏域の人口	麒麟のまち圏域構成市町の当該年の国勢調査人口の合計値。 ※「現状」は、県が発表する構成市町の10月1日現在の推計人口の合計値	目標値	人	-	-	253,348	251,631	249,914	248,197	246,480	244,763	②概ね順調	達成率が昨年度実績より若干下がっている。令和5年度から開始した「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、圏域市町で連携して取組を進めることで、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能で魅力ある圏域の形成・発展に取り組む。 ※R5実績値は、県が発表するR5年10月1日の推計人口の合計値。	政策企画課
				実績値	人	-	255,065	253,874	251,109	248,626	245,241					
				達成率	%	-	-	-	99.8%	99.5%	98.8%					
(2205)他都市との交流の推進	49	民間団体による交流件数	R3～7年度に鳥取市の支援制度を活用して実施した交流事業の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	2	2	2	2	④遅延	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、徐々に交流活動がコロナ前に戻りつつある中、交流人口の拡大に向けて、交流事業の再開や促進を図る必要がある。 引き続き、各地域の県人会などと連携しつつ、民間団体による交流事業に対する支援の充実や、姉妹都市に関するパンフレットの配布や学習・交流機会の提供による相互理解の増進などに取り組むことにより、他都市との交流の推進を図る。	文化交流課
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	4	6	8	10			
				実績値(単年)	件	-	3	0	0	0	3					
				実績値(累計)	件	-	-	-	0	0	3					
				達成率	%	-	-	-	0%	0%	50.0%					

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】文化芸術の薫りあふれるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(2301)文化芸術によるまちづくりの推進	50	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	市内文化活動団体連合組織の当該年度6月末の加盟団体数。	目標値	団体	-	-	-	203	203	203	203	203	②概ね順調	活動者の高齢化により団体数が減少していることを踏まえ、文化芸術活動の持続発展に向けて、新たな活動者の参入・発掘・育成を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、補助制度による活動支援、次世代を対象とした芸術鑑賞教室・体験講座開催による人材育成、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課
				実績値	団体	-	-	203	199	194	191					
				達成率	%	-	-	-	98.0%	95.6%	94.1%					
	51	文化芸術鑑賞者数	鳥取市補助事業等による当該年度の観覧者数。	目標値	人	-	-	-	23,000	30,000	44,000	58,000	72,000	①順調	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、文化芸術活動がコロナ前に戻りつつある中、さらなる鑑賞者数の増加に向けて、市民の文化芸術に対する関心喚起や意識高揚を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課
				実績値	人	-	61,280	22,930	23,969	47,995	56,780					
				達成率	%	-	-	-	104.2%	160.0%	129.0%					
(2302)文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成	52	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において「満足」または「やや満足」と回答をした市民の割合。	目標値	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	⑤評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 文化財所有者等への保存修理や維持管理への支援を継続するとともに、未指定文化財の調査や指定文化財の公開など文化財の利活用を目指す。	文化財課
				実績値	-	-	33.2	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	53	主な文化財関連施設への入館数・指定文化財等の見学者数	歴史博物館（やまびこ館）、因幡万葉歴史館、仁風閣、あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館等の施設や梶山古墳・旧美歎水源地等指定文化財の当該年度の入込数の合計値。	目標値	人	-	-	-	142,000	143,000	144,000	145,000	146,000	②概ね順調	令和5年度は年度途中に休館や閉館した施設もあったことから達成率はわずかに下がったが、前年度からの入館者は増加しており、今後も入館者の増加を目指した取り組みを進めていく。	文化財課
				実績値	人	-	140,937	98,424	102,169	121,885	122,397					
				達成率	人	-	-	-	72.0%	85.2%	85.0%					

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】快適で暮らしやすい生活環境づくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(2401) 生活基盤の充実	54	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	56.0	-	⑤ 評価対象外	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の推進のため、関係機関に対する要望活動、県道整備の費用負担、幹線市道の整備等に引き続き取り組んでいく。	都市企画課
				実績値	%	-	53.2	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	55	公共下水道整備率	公共下水道計画区域内人口に対する、処理が可能な人口の当該年度末の割合。	目標値	%	-	-	-	95.8	96.2	96.7	97.1	97.5	② 概ね順調	下水道未普及地域の管渠整備は概ね順調であり、指標実績値は目標を概ね達成した。今後も継続して整備を進める。 また、整備が完了した地域については、接続率の向上を図るため、積極的な普及促進活動を行う。	下水道企画課
				実績値	%	-	95.3	-	95.9	96.1	96.6					
				達成率	%	-	-	-	100.1	99.9%	99.9%					
(2402) 中心市街地の活性化	56	中心市街地の居住人口（社会増減数）	中心市街地の居住人口の社会増減数（転入者数ー転出者数）の5年間（R3～7年度）の平均値。	目標値	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	⑥ 未達成	令和５年度単年度では、前年度と同程度の社会減となった。年代別で見ると、子育て世帯は転入超過となったが、主に進学や就職を行う年代の転出が多いことで、社会減となっている。また、計画期間における平均値もマイナスへと転じた。 今後は令和５年度に行った既存ストックのデータベース化を活かしたマッチングの促進や、街なか居住体験施設をより子育て世代に適した立地に移転することで、居住人口の増加を図っていく。加えて、中心市街地へのオフィス誘致など、働く場の確保という切り口で居住人口の増加を図る取組も検討していきたい。	まちなか未来創造課
				実績値(単年)	人	-	60	50	68	-63	-62					
				実績値(平均)	人				68	2.5	-19					
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	未達成					
	57	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	令和５年度は、ほとんどの計測地点で通行量の増加が見られ、目標は未達成であるが、昨年度より通行量が増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響下からの回復傾向に加え、賑わい創出に係る各種事業の取組効果によるものと考える。 今後は、旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に係る事業や鳥取城跡の復元整備等のハード事業の進捗による効果をソフト事業でも促進することで、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課
				実績値	人	-	19,113	15,707	16,489	15,370	17,297					
				達成率	%	-	-	-	82.0%	75.7%	84.4%					
	58	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	令和５年度は、ほとんどの計測地点で通行量の増加が見られ、目標は未達成であるが、昨年度より通行量が増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響下からの回復傾向に加え、賑わい創出に係る各種事業の取組効果によるものと考える。 今後は、旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に係る事業や鳥取城跡の復元整備等のハード事業の進捗による効果をソフト事業でも促進することで、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課
				実績値	人	-	21,900	18,900	16,453	14,725	16,628					
				達成率	%	-	-	-	81.9%	72.5%	81.1%					
(2403) 魅力ある中山間地域の振興	59	小さな拠点の形成箇所数	地域住民自らが将来にわたり安心して暮らし続けることができる地域づくりに主体的に取り組む「小さな拠点」の当該年度末の形成箇所数。	目標値	箇所	-	-	-	2	2	3	3	4	① 順調	本事業の周知をさらに進めていくことが必要である。そのうえで、地域の実情を把握し、地域の実情に合った必要な事業を取り込み、住民が主体となった「小さな拠点」形成に向けて引き続き支援を行っていく。	地域振興課
				実績値	箇所	-	1	1	3	4	4					
				達成率	%	-	-	-	150.0%	200.0%	133.3%					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(2403)魅力ある中山間地域の振興	60	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	R3～7年度の輝く中山間地域創出事業（ソフト事業）の取組件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	6	7	8	9	10	②概ね順調	目標値には達していないが、徐々に地域団体の取組が増えてきている。今後より効果的な事業展開を図るとともに、地域づくり活動の定着と継続発展を図る。	地域振興課
				目標値(累計)	件	-	-	-	6	13	21	30	40			
				実績値(単年)	件	-	7	4	4	7	6					
				実績値(累計)	件	-	-	-	4	11	17					
				達成率	%	-	-	-	66.7%	84.6%	81.0%					
	61	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	「とっとりふるさとリーダーアカデミー」で養成されたリーダーの当該年度末の人数。	目標値	人	-	-	-	280	285	290	295	300	①順調	リーダー認定者数の目標は達成したが、参加者の高齢化や地域の偏りが見られるため、若年層が関心をもつようなテーマを取り扱う等して、ゼミ参加者の間口を広げていく必要がある。 今後は高校生、大学生も対象にしたゼミを開催する予定であり、継続して活動に取り組む個人や団体に対しては個別相談窓口により日々対応を続け、活動の深化を図っていく。	地域振興課
				実績値	人	-	275	292	316	343	369					
				達成率	%	-	-	-	112.9%	120.4%	127.2%					
(2404)交通ネットワークの充実	62	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	30.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 人口減少や自家用車への依存によって公共交通利用者が減少しており、公共交通事業者においても乗務員の人材不足や高齢化によって減便等が続くなど公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。市民が安心して暮らせるようキャッシュレス化の推進や異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組など市民が利用しやすい満足度の高い公共交通を目指す。	交通政策課
				実績値	%	-	22.2	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			
	63	鳥取砂丘コナン空港の運航便数	鳥取砂丘コナン空港「鳥取ー東京便」の当該年度の1日の運行便数。	目標値	便	-	-	-	-	-	-	-	6	⑤評価対象外	鳥取-羽田便の５便が令和６年度まで維持されることが決定したものの、令和７年度以降の継続は不透明な状況である。引き続き関係機関と連携し更なる利用促進に取り組み、５便の定期便化を目指す。	交通政策課
				実績値	便	-	5	5	5	5	5					
				達成率	-		-	-	-	-	-	-				
(2405)地域情報化の推進	64	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤評価対象外	令和６年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 CATV網の光ファイバ化が完了したエリアにおいて、CATV既加入者宅に対する光ファイバケーブルへの切替修繕及び既存HFC設備の撤去を実施し、超高速情報通信網（FTTH）への完全移行を目指す。	デジタル戦略課
				実績値	%	-	39.5	-	-	-	-		-			
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-			

【まちづくりの目標】豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち

【政策】安全・安心に暮らせるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(3101) 地域防災力の向上	65	自主防災活動助成件数	自主防災会が実施する防災訓練への当該年度の活動助成件数。	目標値	件	-	-	561	569	577	584	592	600	② 概ね順調	各町内自主防災会連絡協議会が防災訓練等を実施するために必要な経費及びこれらに類する経費を補助した。令和５年度は台風第７号災害等を受け、地域の防災意識が高まり、地域住民による主体的な防災活動が促進され、地域防災力の向上を図ることができた。 全国的に災害が度重なる昨今、防災リーダー等を中心とした住民による主体的な避難所運営のための訓練支援など、地域の更なる防災力を強化していく。	危機管理課
				実績値	件	-	553	388	408	424	491					
				達成率	%	-	-	-	71.7%	73.5%	84.0%					
(3102) 防犯・交通安全対策の充実	66	交通事故発生件数	市内で発生した当該年の交通事故件数。	目標値	件	-	-	-	242	232	222	212	202	① 達成	交通事故件数は、目標値を達成している。引き続き関係機関と連携して交通事故防止に向けた啓発活動などに取り組む。	協働推進課
				実績値	件	-	262	198	204	187	195					
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	達成					
(3103) 安全・安心な消費生活の確保	67	出前講座・公演会・啓発イベント等の実施件数	消費者啓発事業（出前講座・講演会、情報発信など）の当該年度の実施件数。	目標値	件	-	-	-	50	50	56	63	70	③ やや遅延	消費者教育・啓発事業については、鳥取市消費生活プランに基づき、効果的な事業の実施方法を検討しながら、継続して取り組んでいく。 また、身近な相談窓口として、市民へ消費生活センターの認知度向上を図るため、啓発、広報など鳥取市消費生活センターの周知に努めていくとともに、消費者見守りネットワークを活用し、関係機関との連携による見守り体制の充実を図る。	市民総合相談課
				実績値	件	-	67	29	16	19	36					
				達成率	%	-	-	-	32.0%	38.0%	64.3%					

【まちづくりの目標】豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち

【政策】環境にやさしいまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価 評価	内部評価 評価コメント（課題・今後の方向性等）	担当課
(3201) 循環型社会の形成	68	鳥取市の年間ごみ総排出量	市内の家庭や事業所から出されるすべてのごみ（一般廃棄物）の当該年度の総排出量。	目標値	t	-	-	-	58,547	58,079	57,614	57,153	56,699	① 順調	当該年度の目標値及び前年度実績値と対比し、令和５年度におけるごみの総排出量は大幅に減少した。この結果は、市民と事業者がごみの減量化・再資源化を意識し、実践を積み重ねた結果である。 引き続き、家庭や事業所において、ごみの減量、再使用、分別等が徹底できるよう、啓発及び周知を行う。	生活環境課
				実績値	t	-	59,495	58,059	57,961	56,624	54,256					
				達成率	%	-	-	-	101.0%	102.5%	105.8%					
(3201) 循環型社会の形成	69	一人一日当たりのごみ総排出量	市内の家庭や事業所から出されるすべてのごみ（一般廃棄物）の当該年度の一人一日当たりの総排出量。	目標値	g	-	-	-	866.0	862.0	858.0	854.0	850.0	① 順調	一人一日当たりのごみ排出量は、リフューズ・リデュース・リユース・リサイクルの「４Rの実践」が直接的に反映される。令和５年度に可燃ごみ、資源ごみの排出量が減少したことから、生ごみ減量化や資源ごみのリサイクルが促進されたことが推察できる。 今後も継続して、家庭や事業所で実践できる取り組みの啓発及び支援に取り組む。	生活環境課
				実績値	g	-	875	859	864.0	851	822					
				達成率	%	-	-	-	100.2%	101.3%	104.2%					
(3202) 環境保全活動の推進	70	環境教育講座の実施	市が開催・企画する環境に関係する講座や研修等の環境教育・啓発活動の当該年度の実施回数。	目標値	回	-	-	-	1	2	3	4	5	① 順調	令和５年度より取組内容の変更を行い、小中学校を対象とする環境出前授業を12回、親子で参加できる環境ワークショップを２回、社会人向けの環境・エネルギーセミナーを１回の実施することで、目標値を大きく上回った。 引き続き、様々な方法で環境教育や啓発活動に取り組むことのできる機会を提供することで、環境に配慮した行動ができる市民の育成を図る。	生活環境課
				実績値	回	-	2	0	4	5	15					
				達成率	%	-	-	-	400.0%	250.0%	500.0%					